

CMI 株式会社

本社:東京都港区三田三丁目14-11 鳥和三田ビル8階

お問合電話:+81-3-6453-9601

11月、中国の黒鉛電極等について

1. 黒鉛電極

2021年11月4日～11日の期間、中国の黒鉛電極価格は安定し、程々に市場に出荷している。

北京冬季オリンピック開催のため、周辺地域の工業生産が抑制され、春節休暇（2022年は1月31日～2月6日）の前に海外の買い手は在庫に余裕を確保することから、黒鉛電極需給は逼迫すると市場関係者が予想される。

黒鉛電極の需給逼迫や原料の高騰、生産コストの上昇などを受けて、中国の黒鉛電極価格は上昇傾向が見込まれる。

表1 中国の黒鉛電極価格（11月11日現在）

1元=17.86円で換算、以下同。

規格	価格		前週比 (%)
	人民元 (元/トン)	日本円 (万円/トン)	
UHP600	26,183	46.76	0
UHP450	21,149	37.77	0
HP450	19,139	34.18	0

2. 黒鉛電極の原料

2021年11月4日～11日の期間、黒鉛電極原料の価格は安定し、程々の出荷量である。11月11日現在、撫順石化1#A石油コークスは5,500元/t（約9.82万円）、低硫黄仮焼コークス価格は7,800～8,200元/t（約13.93～14.65万円）、石炭系、石油系ニードルコークスは9,500～11,000元/t（約16.97～19.64万円）であった。

3. 電気炉メーカーの稼働率

華東*1、華南地域*2の電気炉メーカーの生産は電力使用制限の緩和で大幅に回復しているが、西南地域では生産制限や原料価格高騰を受けて「時差生産*3」を導入しており、東北、西北地域では前以て生産を停止したところもあった。

ICCによると、11月11日現在、92社の電気炉メーカーの稼働率は58.99%で前週比2.31%上昇した。

注：

- 華東地域には、上海、山東、江蘇、安徽、浙江、江西、福建、台湾が含まれている。
- 華南地域には、広東、福建、海南、広西、香港、マカオが含まれている。
- 時差生産は省エネ、汚染物排出削減、生産量抑制などに向けた、鉄鋼メーカーに対する生産制限措置のことである。例えば、1週間の中でA社は月、火、水に稼働するならば、B社はその日に生産停止し、逆にB社が稼働する木、金、土にA社は生産停止する。

情報源：ICC 資訊より整理作成。